

前ねぶた

前ねぶたは隊列の先頭を行くねぶたです。大型の山車は22基ありますが、それぞれの前を行く小型の山車を指します。この「ミニねぶた」は各実行委員会と関係のあるキャラクターや製品、テーマに沿った造形を披露しつつ、その委員会の隊列の先頭に立ちます。実に変化に富んでおり、缶ビール、アニメのキャラクター、飛行機、ペットフードなど、あらゆる姿形のものが運行します。前ねぶたは本体の山車と同じ材料で作ります。つまり、薄紙に鮮明な色を塗り、中に電球を仕込みます。作り方が同じという理由から、前ねぶたの作り手がねぶた師（ねぶた職人）に弟子入りしたり、ねぶた作りにさらに深く関わったりといったことがしばしば起きます。前ねぶたはリヤカーに乗せて運行するので、曳くのはほんの数人です。曳手（山車を動かす係）が1チーム20人からなるのとは対照的です。